

退公連耶麻支部会報**No.59**

発行・・・支部長 矢部 宥一

発行所・・・耶麻支部広報部

<巻頭言>

新しい年を迎えて

支部長 矢部 宥一

会員の皆様、明けましておめでとうございます。お元氣でお過ごしでしょうか。昨年は、クマが至る所に出没したため被害に遭う人もいて、マスコミで連日のように取り上げられました。キノコ取りが好きな私も山に入ることが慎重になるほどでした。冬眠しているはずのこの頃も時々出ているようで、今年はどうなるだろうと心配しています。

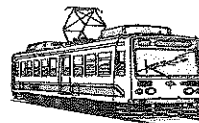
ところで、今年の干支は午年（うまどし）ということですが、それも60年に一度巡ってくる丙午（ひのえうま）の年、努力や挑戦が実を結びやすい年と言われているそうです。何とも勢いのある年ですが、自分には関係のないことかなと思ってしまいます。一日一日を過ごすのがやっとというようになっていて、挑戦や努力とは縁がなくなってきました。

「うま」ということで思い出すのは、自分の家で馬を飼っていた頃のことです。農家だったので、家の玄関を入ると馬がいて、馬と一緒に家屋で生活していました。馬の役割は荷物を運ぶことや、田んぼの代掻きでした。自分は小さい頃なのであまり近寄ることはなかったと思いますが、馬に対しては家族と同じように親近感がありました。どこの家にも馬や牛がいるのが当たり前の生活でした。

最後になってしまいましたが、昨年の会報でもお知らせしましたように、今年の9月に会津で県大会が開催されます。会津美里町の「じげんホール」を会場に開催されます。新年度になってから、開催のための会議等が開催され、係役員等への連絡があると思いますのでよろしく願いいたします。

「私鉄沿線」を体験した旅

青山 邦夫



年が明けての一月、「はがきの名文コンクール」というエッセイ関係のコンクールで運よく入賞し、その表彰式関係で、京都経由で奈良県に二泊三日で行ってきた。私にとってはそれこそ高校の修学旅行以来五十数年ぶりとなる「関西旅行」だった。真冬の厳しい寒さの時期ではあったが、会津では長ぐつでも西日本方面ではそういうわけにもいかないの、革ぐつに履きかえて、雪道に気をつけながら出かけた。幸い、昨年と同時期とは違って雪の量がまだ少なかったの、革ぐつでこの時期の磐越西線に乗っていても、そんなに異様には感じられなかったようだ。そして、郡山からの新幹線。噂に聞いていたインバウンド関連というか、外国人観光客が目立ち、何を話しているのか全く分からない。そして東京駅で雑踏にもまれながら東海道新幹線に乗り換え、京都へと向かった。それから、目的地の奈良県の橿原神宮前駅まで三十数駅を各駅間二～三分程度のペースで一時間半程度の所要時間でたどり着いた。磐越西線では考えられない駅間の短さで、ガタンゴトンと揺れながら、あの野口五郎のヒット曲「私鉄沿線」を思い出した。—— それにしても、冬の会津にはやっぱり長ぐつが似合う…。

青少年センター補導活動に参加して ～隔世の感のなかでの活動～



福祉厚生部長 池田 満吉

現役時代（およそ30歳代）補導活動に関わり、その時代の流行を追う生徒の行動等に戸惑ったり、翻弄されたりの活動だった。50年ぶりに、委嘱状を戴き補導活動が始まった。

説明会資料に「補導活動について」心得があり、私の現役時代に無い「補導活動」について詳細に記されている箇所が多々あった。例えば

○少年に話しかける場合、あいさつ等「愛の一声」を中心

○少年との別れ方

・笑顔で別れる

・感情が対立したまま別れない 等々 （現代は 褒めて伸ばすが、主流か？）

実践活動

○ 8月3日 18時30分～20時30分

諏訪神社のお祭りで、リオンドール仲町店～南下してローソン上道田店までとその周辺。

幼児・児童の多くは保護者同伴、中学生・高校生を多く見かけず高校生がコンビニ等に入出入りを見受けたが、気になる行動はなかった。

南天の朝

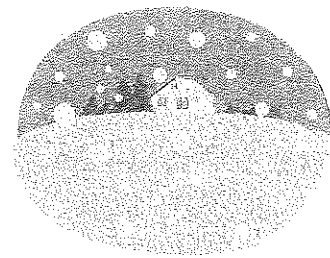
安部 一之

うっすら雪を背負った塀際の木々
一際光を放つものが居る
陽の輝きの中に動かない

ランドセルの背が通り過ぎる
足早の若者の
真新しいコートが眩しい
すっきり動き出した朝の顔
それぞれの足音の中に
それぞれが自分を表現している時間

沢山の息遣いの中に
南天の背がびくりと動いた
一瞬の美しさに動けなかった

紅い実がつぶやいたのか輝いている





紅葉を楽しむ会に参加して

事務局長 青山 邦夫

10月16日(木)の「紅葉を楽しむ会」に参加した。女性部と福祉厚生部の担当で、「喜多の郷」とその周辺を予定だったがあいにくの雨天のため、施設の中で、令和8年度に耶麻支部の女性部が当番になっている「会津連絡協議会女性部研修会」(8/27木)の内容やそれまでの準備等について、佐藤女性部部長から説明を受け、今後の役員会等で周知徹底を図ることになりました。

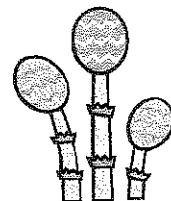
その後、文化的な活動もしようということで、短歌や俳句、川柳の創作の時間をとり、男性陣として参加した池田福祉厚生部長はじめ、たくさんの名作が生まれましたので、紹介します。(原文のまま順不同)

- 風鈴と水琴窟が相和して かすかな涼を 奏でる夕べ 敏子
- なつかしき紅葉降る道 恋しかり 共に歩みし 人はいずこに 宮城悠子
- めがね割れ セカンドめがね 見当たらず 頼みのめがね屋 きょうは休業 青山
- コラボだよ 女性部との 紅葉を見る会 福祉厚生部
- 老い二人 杖がふれあう 紅葉がり 加津作
- 雨降りの 紅葉を見る会 また風情 読み人知らず
- おだやかなれと 新たなカレンダーに メモし秋の日に 星 勝子
- 紅葉も セイタカアワダチ 増さりけり 敏子作
- 引き算と 足し算で決まる 総理の座 青山
- 柿の葉を 避けて摘んでる 散歩道 加津作

創作が終わり、作品を発表し合った後に、参加者全員で、おいしい懐石料理の昼食とコーヒーやデザートまでとりながら、和やかに懇談しました。

会津連絡協議会女性部研修会のお知らせ

- (1) 今年度は耶麻支部女性部が担当です
- (2) 令和8年27日(木)午前9時～
- (3) 会場 喜多方プラザ小ホール
- (4) 内容 第1部 能楽鑑賞 第2部 耶麻地区の生物と自然



※その後昼食(弁当を予定)

- (5) 詳細及び参加費等については、3/25(水)の役員会と4/23(木)の合同会議で最終決定してからお知らせします。男性会員も含めて、多くの会員の方々の参加をお待ちしております。(耶麻で20名、全体で60名を予定)

賛助会費について



会計主任 宮城 悠子

今年度も退公連耶麻支部への賛助金の結果が、下記の表のようになりましたので、お知らせ致します。ご賛同いただいた管内の小・中・高等学校の関係者の方々に厚く御礼申し上げます。また、学校を訪問していただきました役員・地区委員・会員の皆様ありがとうございました。支部の活動に有効に使わせていただきます。

記

令和7年度 賛助会費の集計

項目	学校名	小学校	中学校	高等学校	合計
学校数		18	9	2	29校
人数		170	66	4	240人
金額		54,700円	27,500円	5,560円	87,760円

※人数は、記入なしや報告のない学校が9校あり、実際の賛同者はもっと多いと思われます。

編集後記

広報副部長 青山 邦夫



矢部支部長の巻頭言をはじめ、今年度後半の行事や活動についての原稿が寄せられ、活動に参加できなかった会員の方々にも、その活動の様子や状況がよく伝わったと思います。

そういった面でも、年二回の「広報」の役割は大きいものと思います。文化面でも、安部先生の詩の寄稿や「紅葉を楽しむ会」での短歌・俳句・川柳、そして狂歌？等、退職公務員として「昔とった杵づか」がよく生かされています。今後も広報に積極的、主体的に投稿していただければありがたいです。

